

株式会社TOKAI

平成23年3月期第1四半期

決算短信付属資料

平成22年7月28日

ENERGY & COMMUNICATION



(百万円)

	平成23年3月期 第1四半期		平成22年3月期 第1四半期		増減額	増減率 %
	実績	%	実績	%		
売上高	40,799	100.0	35,886	100.0	4,913	13.7
営業利益	1,681	4.1	1,737	4.8	△56	△3.2
経常利益	1,384	3.4	2,219	6.2	△835	△37.6
四半期純利益	201	0.5	722	2.0	△521	△72.1

LPガス仕入コスト増加の影響△10億円
(CP第1四半期平均:前年420\$⇒727\$)

CP(サウジアラビア国営石油会社であるサウジアラムコ社が決定するLPガス通告価格:Contract Price)

コモディティ
スワップの影響
△7億円

Point

- ▶売上高は、CATV子会社二社(エルシーブイ(株)、(株)倉敷ケーブルテレビ)が新たに加わったことや、LPガス事業における製造業者向け販売価格値上げ等により、49億円の増収
- ▶営業利益は、LPガス仕入コストが10億円増加したが、上記二社の営業利益が加わったことや、単位消費量の増加等により0.6億円の減益にとどめた
- ▶経常利益は、営業利益の減益に加え、前期のコモディティスワップに係る先物運用益7億円がなくなったことにより、8億円の減益
- ▶四半期純利益は、経常利益の減益により5億円の減益

(百万円)

	平成23年3月期 第1四半期		平成23年3月期 第1四半期		増減額	増減率 %
	実績	%	予想	%		
売上高	40,799	100.0	39,900	100.0	899	2.3
営業利益	1,681	4.1	700	1.8	981	140.1
経常利益	1,384	3.4	300	0.8	1,084	361.3
四半期純利益	201	0.5	△320	-	521	-

LPガス家庭用単位消費量が予想を上回った影響+4億円
CATV、情報通信増益の影響+3億円

Point

- ▶平成22年3月期決算発表時点の予想(非公表)を大幅に上回って進捗
- ▶LPガス家庭用単位消費量が当初予想を上回って推移
- ▶情報・通信におけるFTTHの顧客件数が当初予想を上回るペースで増加
- ▶平成21年12月に子会社化したCATV子会社(特にエルシーブイ(株))が好調
- ▶建築・不動産、その他の事業も順調に推移

平成23年3月期第1四半期 セグメント別売上高実績（前年同期比）



（前年同期のセグメント区分を第1四半期実績に合わせた場合）

（百万円）

	平成23年3月期 第1四半期		平成22年3月期 第1四半期		増減額	増減率 %
	実績	%	実績	%		
ガス・石油	22,674	55.6	20,977	58.5	1,697	8.1
情報・通信	8,198	20.1	8,222	22.9	△24	△0.3
CATV	5,464	13.4	3,262	9.1	2,202	67.5
建築・不動産	2,687	6.6	2,074	5.8	613	29.6
その他	1,774	4.3	1,348	3.8	426	31.6
合計	40,799	100.0	35,886	100.0	4,913	13.7

Point

（注）四捨五入により、合計と一致しない

- ▶ガス・石油は、製造業者向けのLPガス・LNG販売が値上げや景気を持ち直しに伴う販売量増加により14億円増収、LPガス家庭用単位消費量増加により5億円増収
- ▶CATVは、平成21年12月に子会社化したCATV子会社二社（エルシーブイ株、株倉敷ケーブルテレビ）の売上高19億円が加わった。
- ▶建築・不動産は、大型建築物の請負金額増加や、新たに葵タワーの不動産賃貸収入が加わったこと等により増収

平成23年3月期第1四半期 セグメント別営業利益実績（前年同期比）



（前年同期のセグメント区分を第1四半期実績に合わせた場合）

（百万円）

	平成23年3月期 第1四半期		平成22年3月期 第1四半期		増減額	増減率 %
	実績	%	実績	%		
ガス・石油	897	53.4	1,574	90.6	△677	△43.0
情報・通信	857	51.0	705	40.6	152	21.6
CATV	682	40.6	284	16.4	398	140.1
建築・不動産	△46	△2.7	△172	△9.2	126	—
その他	△96	△5.7	△117	△6.7	21	—
消去・全社	△614	△36.5	△537	△30.9	△77	—
合計	1,681	100.0	1,737	100.0	△56	△3.2

Point

（注）四捨五入により、合計と一致しない

- ▶ガス・石油は、LPガス仕入コストが10億円増加したが、LPガス家庭用単位消費量の増加により4億円カバー
- ▶CATVは、平成21年12月に子会社化したCATV子会社二社（エルシーブイ株、株倉敷ケーブルテレビ）の営業利益3億円が加わった。

(百万円)

	平成23年3月期 第1四半期		平成23年3月期 第1四半期		増減額	増減率 %
	実績	%	予想	%		
ガス・石油	22,674	55.6	22,100	55.4	574	2.6
情報・通信	8,198	20.1	8,100	20.3	98	1.2
CATV	5,464	13.4	5,400	13.5	64	1.2
建築・不動産	2,687	6.6	2,700	6.8	△13	△0.5
その他	1,774	4.3	1,700	4.3	74	4.4
合計	40,799	100.0	39,900	100.0	899	2.3

Point

(注)四捨五入により、合計と一致しない

- ガス・石油は、LPガス家庭用単位消費量増加の影響が6億円
- 情報・通信は、FTTH顧客の増加等によりADSL・FTTHが増収
- その他は、バルブ製造が増収

(百万円)

	平成23年3月期 第1四半期		平成23年3月期 第1四半期		増減額	増減率 %
	実績	%	予想	%		
ガス・石油	897	53.4	410	58.6	487	118.8
情報・通信	857	51.0	700	100.0	157	22.4
CATV	682	40.6	580	82.9	102	17.6
建築・不動産	△46	△2.7	△160	△22.9	114	—
その他	△96	△5.7	△190	△27.1	94	—
消去・全社	△614	△36.5	△610	△87.1	△4	—
合計	1,681	100.0	700	100.0	981	140.1

Point

(注)四捨五入により、合計と一致しない

- ガス・石油は、LPガス家庭用単位消費量増加の影響が4億円
- 情報・通信は、FTTH顧客の増加等によりADSL・FTTHが増益
- CATVは、エルシーブイ(株)が増益

(百万円)

	平成23年3月期 第2四半期累計		平成22年3月期 第2四半期累計		増減額	増減率 %
	予想	%	実績	%		
売上高	80,900	100.0	72,189	100.0	8,711	12.1
営業利益	1,570	1.9	3,010	4.2	△1,440	△47.8
経常利益	850	1.1	3,527	4.9	△2,677	△75.9
四半期純利益	△870	-	961	1.3	△1,831	-

LPガス仕入コスト増加の影響△19億円
(CP第2四半期累計期間平均:前年436\$⇒684\$)

CP(サウジアラビア国営石油会社であるサウジアラムコ社が決定するLPガス通告価格:Contract Price)

コモディティ
スワップの影響
△12億円

Point

- ▶売上高は、CATV子会社二社(エルシーブイ(株)、(株)倉敷ケーブルテレビ)が新たに加わったことや、LPガス事業における製造業者向け販売価格値上げ等により、87億円の増収
- ▶営業利益は、LPガス仕入コストの増加を19億円見込むが、上記二社の営業利益6億円が加わること等により14億円の減益にとどめる
- ▶経常利益は、営業利益の減益に加え、前期のコモディティスワップに係る先物運用益12億円がなくなることにより、27億円の減益
- ▶四半期純利益は、経常利益の減益により18億円の減益

(百万円)

	平成23年3月期 第2四半期累計		平成23年3月期 第2四半期累計		増減額	増減率 %
	予想	%	前回予想	%		
売上高	80,900	100.0	80,500	100.0	400	0.5
営業利益	1,570	1.9	1,030	1.3	540	52.4
経常利益	850	1.1	150	0.2	700	466.7
四半期純利益	△870	-	△1,050	-	180	-

LPガス家庭用単位消費量が予想を上回る影響+1億円
CATV、情報通信増益の影響+4億円

Point

- ▶平成22年3月期決算発表時点の予想を大幅に上回る見通し
- ▶LPガス家庭用単位消費量について7~9月を慎重に見直したものの、4~6月の増加分により予想を上回る見通し
- ▶情報・通信におけるFTTHの顧客件数が当初予想を上回るペースで増加
- ▶平成21年12月に子会社化したCATV子会社(特にエルシーブイ(株))が好調
- ▶建築・不動産、その他の事業も順調に推移

平成23年3月期第2四半期累計 セグメント別売上高予想（前年同期比）



（前年同期のセグメント区分を第2四半期累計予想に合わせた場合）

（百万円）

	平成23年3月期 第2四半期累計		平成22年3月期 第2四半期累計		増減額	増減率 %
	予想	%	実績	%		
ガス・石油	43,100	53.3	40,157	55.6	2,943	7.3
情報・通信	16,700	20.6	17,211	23.8	△511	△3.0
CATV	11,000	13.6	6,696	9.3	4,304	64.3
建築・不動産	7,000	8.7	5,534	7.7	1,466	26.5
その他	3,100	3.8	2,588	3.6	512	19.8
合計	80,900	100.0	72,189	100.0	8,711	12.1

Point

（注）四捨五入により、合計と一致しない

- ▶ガス・石油は、製造業者向けのLPガス・LNG販売が、値上げや景気の持ち直しに伴う販売量増加により22億円増収
- ▶CATVは、平成21年12月に子会社化したCATV子会社二社（エルシーブイ株、株倉敷ケーブルテレビ）の売上高38億円が加わる
- ▶建築・不動産は、土地販売区画数の増加、大型建築物の請負金額増加、新たに葵タワーの不動産賃貸収入が加わったこと等により増収

平成23年3月期第2四半期累計 セグメント別営業利益予想（前年同期比）



（前年同期のセグメント区分を第2四半期累計予想に合わせた場合）

（百万円）

	平成23年3月期 第2四半期累計		平成22年3月期 第2四半期累計		増減額	増減率 %
	予想	%	実績	%		
ガス・石油	160	10.2	2,170	72.1	△2,010	△92.6
情報・通信	1,810	115.3	1,763	58.6	47	2.7
CATV	1,280	81.5	653	21.7	627	96.0
建築・不動産	60	3.8	△154	△5.1	214	—
その他	△400	△25.5	△327	△10.9	△73	—
消去・全社	△1,330	△84.7	△1,094	△36.3	△236	—
合計	1,570	100.0	3,010	100.0	△1,440	△47.8

Point

（注）四捨五入により、合計と一致しない

- ▶ガス・石油は、LPガス仕入コストが19億円増加
- ▶CATVは、平成21年12月に子会社化したCATV子会社二社（エルシーブイ株、株倉敷ケーブルテレビ）の営業利益6億円が加わる

(百万円)

	平成23年3月期 第2四半期累計		平成23年3月期 第2四半期累計		増減額	増減率 %
	予想	%	前回予想	%		
ガス・石油	43,100	53.3	42,600	52.9	500	1.2
情報・通信	16,700	20.6	16,600	20.6	100	0.6
CATV	11,000	13.6	10,900	13.5	100	0.9
建築・不動産	7,000	8.7	7,200	8.9	△200	△2.8
その他	3,100	3.8	3,200	4.0	△100	△3.1
合計	80,900	100.0	80,500	100.0	400	0.5

Point

(注)四捨五入により、合計と一致しない

- ▶ガス・石油は、LPガス家庭用単位消費量増加の影響が4億円
- ▶情報・通信は、FTTH顧客の増加等によりADSL・FTTHが増収
- ▶建築・不動産は、土地販売区画数減少により減収

(百万円)

	平成23年3月期 第2四半期累計		平成23年3月期 第2四半期累計		増減額	増減率 %
	予想	%	前回予想	%		
ガス・石油	160	10.2	80	7.8	80	100.0
情報・通信	1,810	115.3	1,580	153.4	230	14.7
CATV	1,280	81.5	1,170	113.6	110	9.4
建築・不動産	60	3.8	20	1.9	40	200.0
その他	△400	△25.5	△480	△46.6	80	—
消去・全社	△1,330	△84.7	△1,330	△129.1	0	—
合計	1,570	100.0	1,030	100.0	540	52.4

Point

(注)四捨五入により、合計と一致しない

- ▶ガス・石油は、LPガス家庭用単位消費量増加により1億円増益
- ▶情報・通信は、FTTH顧客の増加等によりADSL・FTTHが増益
- ▶CATVは、エルシーブイ(株)が増益

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料に関するお問い合わせは下記まで
お願いいたします。

株式会社T O K A I 企画調査部
〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8
TEL : (054) 273-4878
FAX : (054) 273-4821
e-mail : tk-kikakuc@tokaigroup.co.jp

ENERGY & COMMUNICATION



<http://tokai.jp>